

テロリズムや移民問題、権力の一極集中が顕在化し、報復や差別、貧困（格差）が蔓延・連鎖する世界情勢。
激動の時代をいかに生きぬくべきか。いまこそ、平和と民主主義、未来の在り方を探る！

資本主義の危機と終焉の時代に 私たちの今と世界を考える

2019年8月31日(土)

13:00~17:30(開場 12:30)

北とぴあ「ペガサスホール」(15F)

●地下鉄南北線 王子駅下車5番出口直結 ●JR京浜東北線 王子駅下車北口より徒歩2分 ●都電荒川線 王子駅前駅より徒歩5分
■〒114-8503 東京都北区王子1-11-1 TEL 03-5390-1100

入場料

1,000円

(学生・障がい者は無料)

定員170名

(申込先着順)

第1部 20周年記念式典 (13:00~)

第2部 記念講演会 (13:20~14:20)

テーマ 「戦争と平和、そして愛」

講師 フォトジャーナリスト 安田 菜津紀 氏

1987年、神奈川県生まれ。Dialogue for People(ダイアログフォーピープル)所属フォトジャーナリスト。16歳の時、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災発生以降は、岩手県陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『写真で伝える仕事—世界の子どもたちと向き合っ—』(日本写真企画)ほか。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。



第3部 記念上映会 (14:40~17:20)

映画 「バジュランギおじさんと、小さな迷子」

2015年、1本の映画が世界を笑いと感動に包み込んだ。底抜けにお人好みなインド人の青年と、声を出せないパキスタンからの迷子の少女の2人旅を、国や宗教、人間愛についてのメッセージと、ほっこりとした笑いに包んで描き、世界中から人種や信条を超えた熱い支持を受けた。インドでは、2015年興行収入で第2位の大ヒットとなり、国内映画賞では30近くもの賞を獲得。全世界でも150億円に迫る大ヒットを記録し、インド映画に熱い注目が集まる中、高まる要望に応え、ついに日本に上陸した。



©Eros international all rights reserved. ©SKF all rights reserved.

主催：一般社団法人 日本フロンティア・ネットワーク(JFN)

後援：一般社団法人 日本社会連帯機構 / 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 / 一般社団法人 協同総合研究所

FAX : 03-6907-8041

参加申込日 : 2019年 月 日

2019年度JFN通常総会 20周年記念特別企画 参加申込書

| | | |
|-------|---------------------|-------|
| ふりがな | ① | |
| 代表者氏名 | 性別 (男 ・ 女) / ①他 名 | |
| ご連絡先 | 【TEL・携帯番号】 | 【FAX】 |
| | 【メールアドレス】 | |
| | 【住所】 〒 - | |
| 所属機関名 | | |
| ふりがな | ② | ③ |
| 同行者氏名 | | |
| 備考欄 | 【ご紹介者、本催事を知ったきっかけ】 | |
| | 【本催事で要望・期待される取り組み】 | |

お申込及びご回答、どうもありがとうございました

- お申込手続き 定員になり次第、メ切となります。予めご了承ください(お早めにお申込み願います)。
- 個人情報保護 参加申込書の内容(個人情報)は、当団体の個人情報保護ポリシーに基づいて、安全かつ厳重に管理させていただきます。
- お問合せ(送付先) 一般社団法人 日本フロンティア・ネットワーク(担当:中野)
TEL:03(6907)8051 FAX:03(6907)8041 メール:c-nakano@roukyou.gr.jp
※開催日(8/31)は、携帯番号090(2754)5652(担当:大越)まで

一般社団法人 日本フロンティア・ネットワーク(JFN)とは…

当団体は、企業・団体・市民と「協同労働の協同組合」であるワーカーズコープとの連携・連帯を図りながら、仕事づくりのフロンティアとして、社会的経済連合をめざし、様々な事業・運動を展開しています。

現在、環境事業のサポートや都市農村交流ツアー、それらの取り組みから生まれた東北復興支援のPB酒(特別純米酒「笹ノ陽(ささのはる)」)の普及・販売、福祉分野では総合生活支援サービス事業(Gシステム)を柱に、地域・市民に寄り添い、まちづくりまでを展望し、地道かつ着実に活動中です。2019(令和元)年、おかげさまで設立20周年を迎えました。